

2018年度 第3回院生企画研究会

主催…フィールドワーカーのための課題解決のフレームワーク班
共催…先端社会研究所

【報告者】 関根康正氏

(神奈川大学アジア研究
センター客員研究員)

「問題意識・フィールドワーク・ 論文作成…その理論と実践」

一般公開・事前申込不要

2019年2月27日(水)
14:30-18:30
(14:00より受付開始)

@関西学院大学
西宮上ヶ原キャンパス
先端社会研究所セミナールーム
(社会学部棟3階)

人類学者川喜田二郎先生の
研究人生をたどること、
人類学的研究をするとはど
ういうことであるか、その
具体的な研究過程とはいか
なるものかを説明してみたい。
研究過程は、問題意識
の発見、先行研究の渉猟、
フィールドワークの実践、
データの統合、エスノグラ
フィの記述などから構成
されているが、その過程の
うちに研究者としての社会
的コミットメントが体現さ
れていることについて確認
していきたい。

以下のようなポイントにつ
いてお話ししていく予定で
ある。

- 1 人類学・野外科学・
フィールドワーク・アブダ
クション
- 2 「問題意識」発見技法
としての写真観察法
- 3 論文作成の実践的方
法…ストリート人類学を事
例にして